

北朝鮮による拉致問題のこと

～拉致被害者の一日も早い帰国を願って～

1 北朝鮮による拉致問題とは

平成14年9月、平壤で行われた日朝首脳会談で北朝鮮側が長年否定していた日本人の拉致を初めて認め、謝罪し、再発の防止を約束してから16年が、また、政府が確認している最初の拉致被害が発生してからすでに40年が経過しました。

政府認定の拉致被害者17名の中には、失踪当時（昭和53年6月）大阪市内の飲食店で勤務していた原勅晁（はらただあき）さんも含まれており、大阪に暮らす私たちにとっても切実な問題です。

政府認定の拉致被害者17名

昭和52（1977）年拉致

久米 裕 さん《当時52歳》
松本 京子 さん《当時29歳》
横田 めぐみ さん《当時13歳》

昭和53（1978）年拉致

田中 実 さん《当時28歳》
田口 八重子 さん《当時22歳》
地村 保志 さん※《当時23歳》
地村（濱本） 富貴恵 さん※《当時23歳》
蓮池 薫 さん※《当時20歳》
蓮池（奥土） 祐木子 さん※《当時22歳》
市川 修一 さん《当時23歳》
増元 るみ子 さん《当時24歳》
曾我 ひとみ さん※《当時19歳》
曾我 ミヨシ さん《当時46歳》

昭和55（1980）年拉致

石岡 亨 さん《当時22歳》
松木 薫 さん《当時26歳》
原 勅晁 さん《当時43歳》

昭和58（1983）年拉致

有本 恵子 さん《当時23歳》

（※印の方は平成14年10月帰国）

このほかにも、いわゆる特定失踪者も含め、拉致の可能性を完全には排除できない人がいます。